

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

一般財団法人 九州港湾福利厚生協会

目 次

1.	平成 28 年度事業の概要	1
2.	運営事業の概要	2～6
3.	助成事業の概要	6～7
4.	施設の整備状況	7～8
5.	港湾貨物取扱量及び港湾福利分担金	8～9
6.	理事、監事及び評議員の異動	10
7.	会議に関する事項	11～12
8.	監査等	12
9.	登記に関する事項	12～13

(資 料)

資料	N0. 1	平成 26 年度～平成 28 年度各施設別運営収支状況
資料	N0. 2	平成 28 年度福祉施設利用状況
資料	N0. 3	平成 28 年度別府・武雄保養センター一月別利用状況
資料	N0. 4	平成 26 年度～平成 28 年度港湾福利分担金及び取扱トン数の推移
資料	N0. 5	作業別港湾貨物取扱トン数の推移
資料	N0. 6	港湾福利分担金納入登録元請港運事業者数（支部別）
資料	N0. 7	港湾福利厚生施設の概要

1. 平成 28 年度事業の概要

当協会の運営につきましては、平素から関係各位のご指導ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種経済政策の効果もあって、穏やかな回復基調が続いているといわれていますが、平成 28 年度における貨物の取扱トン数は、1 億 6 千百万トンで、協会の重要な運営資金となる港湾福利分担金は 2 億 4 千 3 百万円（第 1 次交付金）となっています。

このような情勢のもと、次のとおり、平成 28 年度事業を実施いたしました。

はじめに、運営事業であります。当協会の運営する施設は、総合厚生施設 11 施設のほか現場施設、保養施設など合計で 23 施設あります。

平成 28 年度は、これらの施設の運営にあたり、前年度に引き続き、一層の運営の効率化と経費節減に努める一方で施設の整備・改善に積極的に取り組みました。

施設利用者につきましては 169,719 人で前年度に比べ 370 人・0.2%の減少となっています。収入につきましては 125,878 千円と前年度に比べ 1,189 千円・0.9%減少となっています。支出につきましては 245,583 千円で前年度に比べ 6,962 千円・6.1%の増加となっています。

次に、施設整備の実施状況であります。九港福別府保養センターの改修等工事など 17 件の施設整備を行いました。

これら施設整備に要した費用は、合計で 71,875 千円となっています。

今回の施設整備により、今後は、一層の効率的な運営と利用者の利便性の向上が図られるものと思われま。

このほか、平成 15 年度から導入しています「体育・文化事業への助成事業」及び「保養施設利用者への宿泊費助成事業」につきましては、平成 28 年度も前年度に続き実施をし、本事業の定着化を図っています。

今後とも、運営の効率化や経費の節減、施設の整備改善などに取り組む一方で、港湾福利厚生サービスの充実にも努めて参りたいと考えていますので、関係各位のご理解と、一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 運営事業の概要

(1) 施設の利用状況及び収支状況（資料N0. 1～3 参照）

平成 28 年度における施設の利用状況及び収支状況は、次表のとおりです。

総合厚生施設等（現場施設及び保養施設を含む）の利用者数は、169,719 人で、前年度に比べ 370 人・0.2%の減少となっています。

収入は 125,878 千円で前年度に比べ 1,189 千円・0.9%の減少となっています。

支出は 245,583 千円と、前年度に比べ 4,699 千円・2.0%の増加となっています。

この結果、収支差額は前年度より 5,889 千円増の 119,705 千円となっています。

なお、この収支差額は第一次交付金（分担金）をもって補填しています。

< 施 設 の 利 用 状 況 >

（単位：注参照）

区 分	平 成 2 8 年 度			平成 27 年度		備 考
	施設数	利用者数	前年度比	施設数	利用者数	
総合厚生施設	11	148,520	△3.9	12	154,570	
現 場 施 設	5	17,082	53.2	5	11,152	
保 養 所	2	4,117	△5.7	2	4,367	
計	18	169,719	△0.2	19	170,089	
住 宅	3 (3 棟)	530	△4.3	3 (3 棟)	554	
駐 車 場	2	1,112	△5.8	2	1,181	収容台数 117 台

（注）利用者数は、総合厚生施設、現場施設及び保養施設は延人数、住宅は延戸数、駐車場は延台数である。

< 施 設 の 収 支 状 況 >

（単位：円）

区 分	平 成 2 8 年 度			平 成 2 7 年 度		
	収 入 額	支 出 額	差 引 額	収 入 額	支 出 額	差 引 額
総合厚生施設	69,189,373	154,951,620	△85,762,247	69,596,059	155,994,927	△86,398,868
現 場 施 設	6,221,216	16,110,013	△9,888,797	6,145,404	15,413,585	△9,268,181
保 養 施 設	27,179,613	51,767,112	△24,587,499	27,680,553	50,026,744	△22,346,191
住 宅	17,997,016	20,404,407	△2,407,391	18,208,923	16,951,415	1,257,508
駐 車 場	5,290,520	2,349,735	2,940,785	5,435,926	2,496,799	2,939,127
計	125,877,738	245,582,887	△119,705,149	127,066,865	240,883,470	△113,816,605
対前年度増減額	△1,189,127	4,699,417		△548,386	△15,507,255	

(2) 施設別運営状況

① 総合厚生施設

総合厚生施設（下関、太刀浦、洞海、博多中央、長崎、八代、細島、油津、鹿児島、の各港湾福祉センター及び太刀浦、津久見の港湾会館、計11施設）の利用状況及び収支状況は、次表のとおりです。

これら施設における平成28年度の利用者数は148,520人で、前年度に比べ6,050人・3.9%の減少となっています。

収入は69,189千円で前年度に比べ407千円・0.6%の減少となっています。

支出は154,952千円で前年度に比べ1,043千円・0.7%の減少となっています。

<総合厚生施設の利用状況及び収支状況>

区 分		平成28年度			平成27年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利用者数(人)		148,520	△6,050	△3.9	154,570
収 支 (円)	収 入	69,189,373	△406,686	△0.6	69,596,059
	支 出	154,951,620	△1,043,307	△0.7	155,994,927
	差 引	△85,762,247	636,621	△0.7	△86,398,868

② 現場施設（休憩所）

現場施設（宇部新町、小野田、小倉、伊万里、谷山の各港湾労働者休憩所、計5施設）の利用状況及び収支状況は次表のとおりです。

これら施設における平成28年度の利用者数は17,082人で、前年度に比べ5,930人・53.2%の増加となっています。

収入は6,221千円で前年度に比べ76千円・1.2%の増加となっています。

支出は16,110千円で前年度に比べ696千円・4.5%の増加となっています。

<現場施設の利用状況及び収支状況>

区 分		平成28年度			平成27年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利用者数(人)		17,082	5,930	53.2	11,152
収 支 (円)	収 入	6,221,216	75,812	1.2	6,145,404
	支 出	16,110,013	696,428	4.5	15,413,585
	差 引	△9,888,797	620,616	6.7	△9,268,181

③ 保養施設

両保養センターとも客室の改修、宿泊費助成事業等の効果により会員利用者は順調に推移しています。

㊦ 別府保養センター

別府保養センターの平成 28 年度における利用者数は 1,999 人で、客室改修工事により約 2 か月間の休館をしたため、前年度に比べ 734 人・26.9%の減少となっています。

収入は 13,702 千円で前年度に比べ 3,481 千円・20.3%の減少となっています。

支出は 23,361 千円で前年度に比べ 758 千円・3.1%の減少となっています。

繰入金による補填額は 9,659 千円となっています

<別府保養センター利用状況及び収支状況>

区 分		平成 28 年度			平成 27 年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利 用 者 (人)	宿 泊 (内、会員)	1,999 (1,962)	△734 (701)	△26.9 (△26.3)	2,733 (2,663)
	休 憩	0	0	0	0
	計	1,999	△734	△26.9	2,733
収 支 (円)	収 入	13,701,757	△3,480,706	△20.3	17,182,463
	支 出	23,360,540	△758,014	△3.1	24,118,554
	差 引	△9,658,783	2,722,692	39.3	△6,936,091

㊧ 武雄保養センター

武雄保養センターの平成 28 年度における利用者数は 2,118 人で、前年度に比べ 484 人・29.6%の増加となっています。

収入は 13,478 千円で前年度に比べ 2,980 千円・28.4%の増加となっています。

支出は 28,407 千円で前年度に比べ 2,499 千円・9.6%の増加となっています。

繰入金による補填額は 14,929 千円となっています。

<武雄保養センター利用状況及び収支状況>

区 分		平成 28 年 度			平成 27 年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利用者 (人)	宿 泊 (内、会員)	1,964 (1,726)	465 (535)	31.0 (44.9)	1,499 (1,191)
	休 憩	154	19	14.1	135
	計	2,118	484	29.6	1,634
収 支 (円)	収 入	13,477,856	2,979,766	28.4	10,498,090
	支 出	28,406,572	2,498,382	9.6	25,908,190
	差 引	△14,928,716	△481,384	△3.1	△15,410,100

④ 住 宅

住宅（川代港湾住宅1棟・14戸、八幡竹末住宅1棟・20戸及び八幡西大谷住宅1棟・24戸、計3施設3棟・58戸）の利用状況及び収支状況は次表のとおりです。
平成28年度における利用延戸数は530戸と、前年度に比べて24戸・4.3%減少となっています。

収入は17,997千円、支出は20,404千円で収支差額は2,407千円減となっています。

<住宅の利用状況及び収支状況>

区 分		平成 28 年 度			平成 27 年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利用延戸数(戸)		530 (76.1%)	△24	△4.3	554 (79.6%)
収 支 (円)	収 入	17,997,016	△211,907	△1.2	18,208,923
	支 出	20,404,407	3,452,992	20.4	16,951,415
	差 引	△2,407,391	△3,664,899	—	1,257,508

(注) 利用延戸数・実績欄の()内の数字は、入居率(利用延戸数/収容延戸数)である。

⑤ 駐車場

門司白野江駐車場（収容台数 86 台）、八幡穴生駐車場（同 31 台）、計 2 施設（同 117 台）の利用状況及び収支状況は次表のとおりです。

平成 28 年度における利用延台数は 1,112 台と、前年度に比べて 69 台 5.8%減少となっています。収入は 5,291 千円、支出は 2,350 千円で収支差額は 2,941 千円となり、収支状況は前年度より 12 千円増加となっています。

<駐車場の利用状況及び収支状況>

区 分		平成 28 年度			平成 27 年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利用延台数（台）		1,112 (79.2%)	△69	△5.8	1,181 (84.1%)
収 支 (円)	収 入	5,290,520	△145,406	△2.7	5,435,926
	支 出	2,349,735	△147,064	△5.9	2,496,799
	差 引	2,940,785	11,658	0.4	2,929,127

(注) 利用延台数・実績欄の（ ）内の数字は、利用率（利用延台数／収容延台数）である。

3. 助成事業の概要

「保養施設利用者への宿泊費助成事業」及び「支部が行う福利厚生事業への助成事業」については平成 15 年度から導入していますが、平成 28 年度も継続して実施しました。

なお、宿泊費助成事業については、平成 18 年度からは、助成対象宿泊施設に「シーパレス日港福」を追加しています。

平成 28 年度における両事業の実施状況は、次表のとおりです。

本事業は、利用者も多く関係者の方々から好評をいただいています。

<保養施設利用者への宿泊費助成事業実績>

区 分	平成 28 年度			平成 27 年度
	助 成 額	対前年度比	割引宿泊券枚数	助 成 額
別府保養センター	3,682,000 円	72.9	1,841 枚	5,050,000 円
武雄保養センター	3,288,000 円	152.9	1,644 枚	2,150,000 円
シーパレス日港福	340,000 円	140.5	170 枚	242,000 円
合 計	7,310,000 円	98.2	3,655 枚	7,442,000 円

＜支部が行う福利厚生事業への助成事業実績＞

区 分	平成 28 年 度			平成 27 年度
	助 成 額	対前年度比	助 成 件 数	助 成 額
体育・文化行事等	3,976,748 円	104.0	20 件	3,823,206 円

4. 施設の整備状況

平成 28 年度に実施しました施設の整備状況は次のとおりです。

① (一社) 日本港湾福利厚生協会の施設整備助成による施設の整備

日本港湾福利厚生協会の施設整備助成により次のとおり 7 施設の整備工事を実施しました。

(単位:円)

施 設 名	工 事 名	工 事 金 額	助 成 金 額	工 期	備 考
九港福別府保養センター	客室トイレ新設・押入れ移設工事他	21,384,000	21,380,000	自 H 28.5.9 至 H 28.7.15	
太刀浦港湾会館	2 階和室を事務室への改修工事他	7,560,000	7,560,000	自 H 28.6.13 至 H 28.7.19	
洞海港湾労働者福祉センター	外壁改修工事	9,828,000	9,820,000	自 H 28.7.1 至 H 28.8.31	
細島港湾福祉センター	サッシ取替工事	14,688,000	14,680,000	自 H 28.5.12 至 H 28.6.23	
長崎港湾福祉センター	屋根・外壁補修工事	3,706,000	3,700,000	自 H 28.7.20 至 H 28.8.11	
油津港湾労働者福祉センター	外壁補修工事	3,240,000	3,240,000	自 H 28.5.9 至 H 28.6.30	
九港福武雄保養センター	浴室水漏れ補修工事	1,766,000	1,760,000	自 H 28.9.6 至 H 28.10.4	
合 計		62,172,000	62,140,000		当協会負担分 32,000

② 協会予算による施設の整備

協会予算による施設の整備状況は、次のとおりです。

(単位：円)

施 設 名	金 額	整 備 概 要
九港福別府保養センター	3,746,585	屋根瓦取替工事他
九港福武雄保養センター	645,840	天井板改修工事他
下関港湾福祉センター	972,000	駐車場修繕工事
太刀浦港湾会館	572,400	火災報知器設備改修工事他
小倉港湾労働者休憩所	93,420	エアコン補修
洞海港湾労働者福祉センター	972,000	外壁改修工事
伊万里港湾労働者休憩所	264,600	ステッパー購入
八代港湾労働者福祉センター	1,176,750	屋上防水工事他
細島港湾福祉センター	723,600	机、布団購入
谷山港湾労働者休憩所	535,680	看板設置
合 計	9,702,875	

5. 港湾貨物取扱量及び港湾福利分担金

(1) 港湾貨物取扱量 (資料N0. 4～5 参照)

港湾貨物取扱量は、平成28年度は合計で161,038千トンと、前年度に比べ2,466千トン・1.5%減少しています。

(単位：千トン)

年 度 業 種	平 成 2 8 年 度			平成27年度 取 扱 量
	取 扱 量	対前年度増減量	増 減 率 (%)	
一 般 荷 役	22,035	841	4.0	21,194
特殊料金荷役	117,936	△1,670	△1.4	119,606
検数・検量	15,500	△1,313	△7.8	16,813
関 連 事 業	5,567	△324	△5.5	5,891
合 計	161,038	△2,466	△1.5	163,504

(2) 港湾福利分担金（資料N0. 4 参照）

平成 28 年度における港湾福利分担金は、第 1 次及び第 2 次交付金合計で 406,499 千円となり、前年度に比べ 10,244 千円・2.6%増加しています。

このうち、地方分担金である第 1 次交付金は 243,900 千円で、前年度に比べ 6,146 千円・2.6%の増加となっています。

（単位：千円）

年 度 分担金	平 成 2 8 年 度			平成 27 年度 金 額
	金 額	対前年度増減額	増 減 率 (%)	
第 1 次交付金 (地方分担金)	243,900	6,146	2.6	237,754
第 2 次交付金 (中央分担金)	162,599	4,098	2.6	158,501
合 計	406,499	10,244	2.6	396,255

(3) 港湾福利分担金納入登録元請港運事業者数（資料N0. 6 参照）

当協会における平成 28 年 12 月 31 日現在の港湾福利分担金納入登録元請港運事業者数は 242 事業者です。

区 分	平成 28 年 12 月 31 日現在数			増 減 の 内 訳
	27 年末数	増 減 数	合 計	
港 湾 荷 役	204	△23	181	
検 数 ・ 検 量	55	△12	43	
関 連 事 業	35	△17	18	
合 計	294	△52	242	

6. 理事、監事及び評議員の異動

(1) 平成 28 年 6 月 3 日に開催された平成 28 年度第 1 回理事会及び平成 28 年 6 月 22 日に開催された平成 28 年度定時評議員会において、理事・監事及び評議員の選任が行われ、下記理事・監事・評議員の交代と、そのほかの理事・監事・評議員の重任が議決承認されました。

新任理事	所 属		退任理事
杉本裕一	北九州市	門菱港運株式会社 代表取締役	掛江実
江越直之	福岡市	相互運輸株式会社 取締役管理部長	平野仰
新任監事			退任監事
松井伸介	北九州市	東海運株式会社 九州事業部長	菊池直樹
新任評議員			退任評議員
田畑和章	大牟田市	有明商事株式会社 専務取締役	諸岡顕臣
高橋成二	佐伯市	株式会社ジェネック 佐伯支店長	岩橋正俊

7. 会議に関する事項

会 議 名	議 題
平成28年度 第1回理事会 平成28年6月3日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度事業報告（案）について 2. 平成27年度事業収支決算（案）及び 公益目的支出計画実施報告書（案）について 3. 評議員会の招集について 4. 評議員、理事、監事の選任について 5. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度（一社）日本港湾福利厚生協会の施設整備助成金について (2) 平成28年度第1回保養センター運営委員会について (3) 白野江住宅に係る土地・駐車場の売却について
平成28年度 定時評議員会 平成28年6月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度事業収支決算及び 公益目的支出計画実施報告書について 3. 評議員、理事、監事の選任について 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度（一社）日本港湾福利厚生協会の施設整備助成金について (2) 平成28年度第1回保養センター運営委員会について (3) 白野江住宅に係る土地・駐車場の売却について
平成28年度 第2回理事会 平成28年6月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表理事、業務執行理事の選任について
平成28年度 第3回理事会 平成29年3月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成28年度予備費使用の承認について 2. 平成29年度事業計画(案)及び平成29年度収支予算(案) について 3. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度第2回保養センター運営委員会の報告に ついて (2) 白野江住宅にかかる土地・駐車場について

会 議 名	議 題
平成28年度 第1回保養センター 運営委員会 平成28年5月19日	1. 平成27年度事業報告(案)について 2. 平成27年度運営事業決算(案)について 3. その他 (1) 割引宿泊券の利用状況等について (2) 平成28年度日港福施設整備助成に係る工事について (3) その他
平成28年度 第2回保養センター 運営委員会 平成29年2月24日	1. 平成29年度運営事業予算(案)について 2. 保養センターの利用状況について (1) 保養センターの利用状況及び割引券使用状況 (2) 年度別・月別宿泊者数の推移 (3) 年度別事業収入の推移 3. 平成29年度日港福施設整備助成に係る工事について

8. 監 査 等

平成28年5月18日、平成27年度決算に対する監事の監査が行われました。

9. 登記に関する事項

(1) 理事・監事・評議員の登記

① 平成28年6月30日、重任及び新任者の登記を行いました。

新任理事	杉 本 裕 一
	江 越 直 之
退任理事	掛 江 実
	平 野 仰
新任監事	松 井 伸 介
退任監事	菊 池 直 樹

新任評議員	田 畑 和 章
	高 橋 成 二
退任評議員	諸 岡 顕 臣
	岩 橋 正 俊

重任理事	野 畑 昭 彦	三 輪 亮 介
	平 畑 邦 孝	久 保 利 行
	米 田 英 治	大 西 英 二 朗
	岡 部 秀 年	松 永 英 樹
	小 谷 英 夫	白 濱 勲 樹
	中 部 憲 一 郎	山 中 直 樹
	辻 宏 成	木 原 國 博
	松 木 喜 一	岡 部 一 男
	中津留 伸 亮	

重任監事	法 本 健 吾
------	---------

重任評議員	橋 本 満 敬	浦 口 祐 宏
	佐々木 哲 夫	平 野 秀 文
	赤 尾 正 洋	里 見 弘 壽
	中 江 英 毅	山 田 憲 司
	阿久根 秀 雄	富 吉 賢 治
	今 泉 清 美	小 野 圭 一 朗
	佐々木 龍 児	鎮 西 博 和

